

1 審議会名	上田市公文書館運営協議会
2 開催日	令和3年3月29日
3 会場	書面審議
4 出席委員	堀内委員、小平委員、児玉委員、関委員、田村委員
5 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
6 会議概要作成年月日	令和3年3月31日

協 議 事 項 等

1, 2 来館者数・運用状況について

(委員)

- ・新型コロナウイルス感染症が収まらない中にも関わらず、来館者がまずまずの人数となり嬉しく思う。
- ・閲覧の申し込みもあり、今後における一層の活用が期待される。

(委員)

1年間の入館者数は平均1.7人 前年度は2.3人、郷土博物館は2019年度2.3人、開館して間もないが、公文書館と郷土資料館の入館数には良き相乗効果があるように思う。月、常時2人の入館者の確保を目指したいもの。

(委員)

来館利用者については、概ね悪い数字ではないと思う。閲覧資料から何が知りたいのか、調べたいのか、大略想像されるが、市民の中にこうした姿勢が形成されていくことが大切かと思う。古文書の寄贈25件は喜ばしい。公文書館が認知されたという証拠。寄贈者の御宅の「江戸期の状況」を調査・記録してください。この家文書の概説に必要。

(委員)

令和2年4月、5月、令和3年1月は、コロナ禍のため臨時休館等があり入館者の減はやむを得ないと思われる。令和2年12月からは、スペイン風邪の流行の展示があり、特に2月・3月は展示説明会が開催されるなど入館者数が多かったと思われる。特に、2 寄贈・寄託の内容について東内尋常小学校記念写真があったが、今後も古い時代の写真の寄贈が多くあると良いと思う。

(委員)

コロナ禍の中でも訪れる人があり、入館者440人は、公文書館の意義があると感じる。

3 事業報告について

(委員)

- ・古文書の寄贈・寄託も、今後とも増加すると思われる。丸子地域のものはできれば公文書館で受け入れて欲しいと思う。
- ・公文書館講座・企画展示については、それぞれ工夫して実施していただいた。

(委員)

- ・公文書館講座: 地域史連絡協議会の加盟団体も巻き込むような企画も一考していただければ幸い。
- ・資料企画展示: 時局に沿った動きに地元はどうかかわりをもっていたのか知ることの出来る史料をコンパクトに展示、マスコミを通じて市民に伝えられ、史料への関心度をはかられていること、そのような展示の継続を引き続き要望する。

(委員)

- ・コロナ禍の中、特に講座の開催は御苦労様。
- ・収蔵資料を使用しての講座を考えていく必要は痛感するが、資料調査には時間を要する。

(委員)

- ・コロナ禍においても公文書館講座が 2 講座開催された。少人数での各 2 回の実施は大変良いと思う。
- ・資料企画展示の「大正時代の上田とスペイン風邪の流行」については、コロナ禍においての市民の皆さんの関心も高く良い企画展だったと思う。

(委員)

都合がつかず参加できなかったが、公文書館講座の開催はありがたい。

#### 4 文書移管について

(委員)

公文書の大量移管が今後とも続くことは歴然とした事実。健康に気をつけて対応を。

(委員)

- ・市役所新築にともなう行政文書が、原課の判断だけで処理されないよう一定の基準を各課に示す必要があると思うが、この点はどのようになっているのか。必ず公文書館が関わる文書規程の改正が必要になるが、出来る限り早く総務部との協議をされ、改正方向の道筋を付けていく必要があると思う。
- ・現体制で大量の文書綴を整理することは大変なこと。まずは正規職員確保することが先決だが、困難な場合は非正規職員の雇用を図り対応してほしい。
- ・中間書庫的な場所となる旧東内保育園などを南庁舎関係史料の一時収蔵庫として確保することは出来ないか。

(委員)

- ・移管文書の整理方針を運営委で審議する必要はないか。
- ・丸子地域振興課からの文書「兵事文書」と言うが、8 月終戦時に県から焼却処分命令があったものをかいくぐった文書で重要だ。目録を見ると他の旧町村（既閲覧の R2.8.8 に 3 点。R2.9.19 の国防婦人会も類似。）にも若干あるが、個人名があるので難しいのだが、調査したい。

(委員)

多くの部課から文書移管があり大変良いと思うが、社会教育関係の生涯学習・文化財課が 10 冊、公民館文書が 0 冊ということについて気になった。公民館関係の移管については、今後文書移管内容について研究する必要性を感じた。

(委員)

特になし。

#### 5 事業計画について

(委員)

- ・新年度も、魅力ある公文書館講座・企画展示をお願いしたい。
- ・職員が他部署へ出向せねばならないとのこと、残った職員の負担増になりそうで心配。

(委員)

- ・公文書館講座については、資料 3 で一部触れた。

(委員)

- ・県史料協は大変だがよろしくお願ひしたい。

(委員)

- 1 主催事業：公文書館講座について年 4 回の開催は大変良いと思う。企画展示の説明会についても所要時間も 30 分と聞きやすい時間で良いと思う。
- 2 広報：「上田市公文書館だより」の毎月発行の計画は素晴らしいと思う。
- 3 その他：長野県史料保存活用連絡協議会総会について、午後の講演会は一般も参加できるか。

(委員)

公文書館講座、所蔵資料の展示及び説明会は適切と思う。

## 6 その他

(委員)

- ・公文書館へ専門的な知識を身につけた職員の増員と配置を市当局へお願ひしたい。
- ・新年度も公文書館だよりを楽しみにしている。

(委員)

- ・年号の扱いを公文書館は和暦一本で処理されている。個人的には西暦で統一して欲しいが、困難であるなら併用でお願ひしたい。
- ・『諏訪形誌』など地域史・誌や団体の団体史などが刊行されている。公文書館は目配せし、必ず寄贈なり購入を系統的に行って、上田小県関係の地域史料はすべて上田公文書館に行けば分かるというようにしてほしい。

(委員)

- ・根幹業務の保存期限切れ文書の選別、受入れ、整理について、開館 3 年目になることから、軌道に載せる必要がある。急務である。

(委員)

令和 2 年度は、コロナ禍の中で、大変な年度であったが、「上田市公文書館だより」を数多く発行したり、講座や展示説明会を開催したりするなど、できることを着実に実施するなど良かったと思う。

(委員)

公文書館は地味な仕事であるが、地道にやっていけばよいのでは。